

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和4年7月26日(2022.7.26)

【公開番号】特開2021-18152(P2021-18152A)

【公開日】令和3年2月15日(2021.2.15)

【年通号数】公開・登録公報2021-007

【出願番号】特願2019-134276(P2019-134276)

【国際特許分類】

G 01 K 7/18(2006.01)

10

G 01 K 13/20(2021.01)

G 01 K 7/00(2006.01)

【F I】

G 01 K 7/18 B

G 01 K 7/00 3 4 1 P

G 01 K 7/00 A

【手続補正書】

【提出日】令和4年7月15日(2022.7.15)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

センサ信号を出力するセンサと、

供給された前記センサ信号を用いて演算を行い、温度情報を出力する電気回路部と、  
前記電気回路部が搭載された回路基板と、

一端側が前記センサに電気的に接続され、他端側が前記回路基板に電気的に接続され、可  
撓性を有し、前記センサ信号を前記電気回路部に供給する可撓性部材と、

開口部を有し、前記回路基板を収容する筐体と、

前記開口部に備えられた固定部材とを有し、

前記可撓性部材の前記一端側は、前記筐体の前記開口部から露出し、前記開口部に備え  
られた前記固定部材により前記筐体に固定され、

前記可撓性部材の前記他端側は、前記筐体に収容され、前記回路基板に固定され、

前記可撓性部材は、前記固定部材により前記筐体に固定された前記一端側、及び、前記回  
路基板に固定された前記他端側以外の部分が前記筐体又は前記回路基板に支持されていな  
い温度計測装置。

【請求項2】

請求項1に記載された温度計測装置であって、

前記筐体は、前記可撓性部材の一方側の面に対向する第1面と、前記可撓性部材の他方  
側の面に対向する第2面と、前記可撓性部材の前記一端側に近づくほど前記第1面と前記  
第2面との間隔が狭くなるように窄んでいる部分である窄み部とを有し、

前記固定部材は、前記窄み部における前記第1面と前記第2面との間隔が最も狭くなる  
部分に備えられている温度計測装置。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載された温度計測装置を用いた体温計。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明の第1の観点に係る温度計測装置は、センサ信号を出力するセンサと、供給された前記センサ信号を用いて演算を行い、温度情報を出力する電気回路部と、前記電気回路部が搭載された回路基板と、一端側が前記センサに電気的に接続され、他端側が前記回路基板に電気的に接続され、可撓性を有し、前記センサ信号を前記電気回路部に供給する可撓性部材と、開口部を有し、前記回路基板を収容する筐体と、前記開口部に備えられた固定部材とを有し、前記可撓性部材の前記一端側は、前記筐体の前記開口部から露出し、前記開口部に備えられた前記固定部材により前記筐体に固定され、前記可撓性部材の前記他端側は、前記筐体に収容され、前記回路基板に固定され、前記可撓性部材は、前記固定部材により前記筐体に固定された前記一端側、及び、前記回路基板に固定された前記他端側以外の部分が前記筐体又は前記回路基板に支持されていない。

10

20

30

40

50